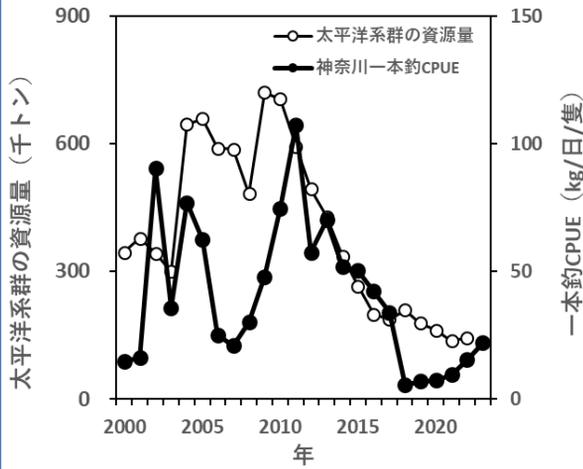


資源の動向 「低位・増加」



一本釣CPUE (kg/日/隻)と太平洋系群の資源量の推移

本県沿岸におけるゴマサバの漁況は太平洋系群の資源量と海況等の環境要因に左右される。ゴマサバ太平洋系群の資源量は近年減少傾向であり、令和4(2022)年度の評価でも資源動向は「減少」と判断されている。本県沿岸でも、資源量減少の影響を強く受け、一本釣漁船の1日1隻あたり漁獲量(CPUE)は資源動向と一致して「低位」と判断されるが、CPUEは低レベルながら「増加」傾向にある。マサバが釣れない中、ゴマサバを水揚げするケースが増えているものとみられる。

対象漁業

- 定置網漁業
- 一本釣漁業



生物学的特性

- 分布: 日本列島近海
- 移動: 冬～春、伊豆諸島周辺以西、夏～秋、房総半島以西(一部は三陸～道東沖へ回遊)
神奈川県沿岸(相模湾、東京湾)では当歳魚から親魚まで幅広く漁獲される
- 成長: 尾叉長は2歳で30cm前後、5歳で36cm前後 (寿命は6歳程度)
- 産卵期等: 12～6月

